

地域密着型金融推進の取組みについて

(平成24年4月～平成25年3月)

中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

中期経営計画「アクション to チャレンジ」 ～福井銀行は地域との共存・共栄に努め、お客さまとの絆を深めます～

福井銀行では、平成24年4月からの3年間を計画期間とする中期経営計画「アクション to チャレンジ」を策定いたしました。

■中期経営計画における地域密着型金融推進の位置付け

この中期経営計画では、「地域密着型金融の実践」を大きな柱として位置付けており、3年間の中期経営計画を通して「地域密着型金融の実践」をさらに強化してまいります。

■中期経営計画の概要（グランドデザイン）

地域金融機関としての存在意義を見つめなおし、福井銀行の10年後のあるべき姿として「グランドデザイン」を掲げました。この「グランドデザイン」では、法人・個人のお客さまに隔たりにく、『地域のお客さまのライフステージに応じて、常にご満足いただける解決策を提供する』ことを「10年後のあるべき姿」とし、これが達成されれば、「お客さまが『そばにいてほしい』と思う日本一の銀行」になっているとの思いを込めています。

目次

本誌では、中期経営計画および地域密着型金融推進の取組み方針に基づいて活動した内容についてご紹介します。

- ❖ 法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮
- ❖ 地域の面的再生への積極的な参画
- ❖ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

平成25年6月



いつも、いつでも、いつまでも。

福井銀行

法人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

創業・新規事業開拓支援への取組み

方針

- ・お客さまとのコミュニケーション強化により、事業ニーズを的確に把握し、最適なソリューションをご提案します。
- ・常に安心・満足してご相談いただけるサービス機能の提供、人材の育成に取り組めます。
- ・多種多様なニーズにお応えするため、地元支援機関や外部機関との連携を強化します。

◆「ふるさと企業育成ファンド」の活用促進

平成23年9月に福井県および県内7金融機関により創設された同ファンド（ファンド総額：100億円、うち当行45億円を無利息貸付）では、「新分野展開スタートアップ支援事業」として、経営の多角化や事業転換を図り、新分野への事業展開を行う企業へ助成を行っております。

助成制度の運営母体である公益財団法人ふくい産業支援センターと連携し、お客さまの事業計画策定支援に取り組めました。

平成24年度採択事業者	9社
うち当行経由による採択事業者	5社

※平成23年度実績

採択事業者：7社

うち当行経由で採択された事業者：4社

◆お客さまへの情報発信の強化

地元支援機関が実施する各種セミナー・展示会について、お客さまへの情報発信と活用に努めました。

- ・太陽光発電事業化のための企業セミナー
当行・福井県共催
(平成24年9月開催)
- ・ふくい元気企業フェア2012
公益財団法人ふくい産業支援センター主催
(平成24年9月開催)
- ・北陸技術交流テクノフェア2012
福井商工会議所主催
(平成24年9月開催)

成長支援への取組み

方針

- ・ビジネスマッチング活動を通じて、お客さまの新たなビジネスチャンスを創造します。
- ・新たな金融サービス機能の開発により、多様な資金調達方法を提供します。
- ・海外展開や医療・農業などの専門性が高いニーズに対応できる人材を育成します。

◆ビジネス商談会の開催・参加

ビジネス商談会を開催し、お客さまの新たなビジネスチャンスの獲得の支援に取り組めました。

- ・第8回 FIT ネット商談会 FITBIZ2012
(平成24年11月 福井開催)

福井銀行、北國銀行、富山第一銀行の3行主催によるビジネス商談会。平成24年度は福井産業会館にて、「人がつながる。未来へつなげる。」をテーマに開催しました。

参加企業数：555社（うち当行お取引先：229社）
商談件数：3,250件（うち当日成約件数：361件）

- ・日中ものづくり商談会@上海
(平成24年9月 上海開催)
参加企業数：582社（うち当行お取引先：11社）
商談件数：17,500件
- ・地方銀行フードセレクション2012
(平成24年10月 東京開催)
参加企業数：620社（うち当行お取引先：11社）
商談件数：1,546件
- ・第3回ネットワーク商談会 IN 大阪
(平成24年11月 大阪開催)
参加企業数：76社（うち当行お取引先：19社）
商談件数：439件



◆ビジネスマッチングへの取組み

当行のネットワークを最大限に活用し、お客さまへ最適なビジネスパートナーを紹介しました。

当行マッチング情報の登録件数	547件
うち商談に至った件数	278件

◆でんさいサービスへの対応

平成25年2月、株式会社全銀電子債権ネットワーク（通称：でんさいネット）による「でんさいサービス」の開始に合わせ、「福銀でんさいサービス」の取扱いを開始しました。

福銀でんさいサービス契約件数	1,942件
お客さま説明会開催回数	21回

（平成25年3月31日時点）

◆専門分野への対応強化

専門性が高い分野の改善策の提案や情報提供等に対応するため、質の高いサービスを提供できる人材を育成し、コンサルティング機能の強化に努めました。

医療経営士取得者	3名
農業経営アドバイザー取得者	5名

（平成24年度における新規取得者）

◆海外進出支援への取組み

＜セミナー・個別相談会開催＞

地元支援機関等と協力し、セミナーや個別相談会を開催し、海外情報の提供に努めました。

- ・ 為替関連セミナー
当行・ふくい貿易促進機構共催
（平成24年10月開催）
- ・ 中国・東南アジアセミナー
ふくい貿易促進機構・福井県立大学主催
（平成24年12月開催）
- ・ 海外展開セミナー in 福井
当行・独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部共催
（平成24年9～12月開催）
- ・ 中国ビジネス個別相談会
当行主催、相談員：株式会社マイツ
（平成24年8月開催）

＜海外支援室の帯同訪問による支援態勢強化＞

専門知識を持った本部分行員が帯同訪問し、海外情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組みました。

- ・ 本部分行員帯同訪問実績：395件

事業承継支援への取組み

方針

- ・ お客さまのニーズを的確に把握し、事業承継計画の策定・実践支援に取り組めます。
- ・ 本部専門部署の機能強化により、営業店と一体となってお客さまの計画をご支援します。
- ・ 外部専門機関との連携強化により、さまざまな角度からの情報提供に取り組めます。

◆セミナーの開催

地元支援機関等と協力し、セミナー開催による事業承継の対策や傾向の情報提供に取り組めました。

- ・ オーナー経営者の事業承継対策セミナー
当行主催
（平成24年9月）
- ・ 事業承継セミナー in 福井
当行・独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部共催
（平成24年11月）

◆営業推進室の帯同訪問による支援態勢強化

専門知識を持った本部分行員が帯同訪問し、事業承継情報の提供やソリューションの提供、相談支援に取り組めました。

- ・ 本部分行員帯同訪問実績：70件

◆次世代経営塾の開講

平成23年度に引き続いて、「第2期 福銀 次世代経営塾」を開講しました。

本経営塾は自社経営のさらなる発展をめざす次世代経営者の育成を目的としており、外部コンサルタントや県内地元講師と提携し、平成24年度は「基本コース（全9回）」「上級者コース（全4回）」にわたり講義を行いました。

- ・ 「第2期 福銀 次世代経営塾」受講者
基本コース：25名、上級者コース：21名



経営改善、事業再生・業種転換等支援への取組み

方針

- ・お客さまの経営課題について、財務面・事業面から分析・把握する支援を行います。
- ・お客さまの状況に応じ課題解決のための、最適なソリューションの提案を行います。
- ・ソリューション提案後も訪問活動を通じて、経営改善・事業再生をご支援します。

◆経営改善への取組状況

本部と営業店が連携し、お客さまの経営改善計画書策定ニーズを把握し、経営改善計画書の策定支援を行うとともに、経営改善に向けたコンサルティング活動を継続的に実施しました。

経営改善計画書の策定率	93.1%
ランクアップ・ランク維持率	88.0%

※経営改善計画書の策定率

当行の一定の基準に基づく334先のお客さまを対象とした経営改善計画書の策定割合

※ランクアップ・ランク維持率

334先のお客さまを対象とした財務内容改善・維持先の割合

◆経営改善への取組状況

中小企業再生支援協議会と連携し、お客さまの事業再生支援に取組みました。

再生計画策定先（2次対応完了）	23件
うちメイン行としての案件持込み数	8件

◆北陸税理士会との業務協力

お客さまの支援に関する相互の連携強化を図るため、北陸税理士会福井県支部の6支部（福井・三国・大野・武生・敦賀・小浜）と「業務協力に関する覚書」を締結しました。

本覚書はお客さまのご支援・育成に関する情報を交換し、有効なソリューションや支援策等の企画・立案について相互に協力し合うことで、地域経済の発展に寄与することを目的としています。



◆経営革新等支援機関の認定取得

当行は、平成24年11月5日に北陸財務局長および近畿経済産業局長より、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」として認定を受けました。

この認定は、中小企業者の方々の財務内容等の経営状況分析や事業計画の策定支援・実行支援を行うにあたり、税務・金融および企業の財務に関する専門的な知識や実務経験を有すると認められた機関に与えられるものです。

認定機関として、よりご満足していただける解決策の提供に取り組んでいきます。

◆経営相談会の開催

地元支援機関と連携して経営相談会を開催し、お客さまの抱える問題の解決に努めました。

・移動経営相談会

相談員：公益財団法人ふくい産業支援センター
会場：松岡支店・神明支店・小浜支店・岡本支店
(平成24年7月、平成25年1・2・3月開催)

・お客さま経営相談会

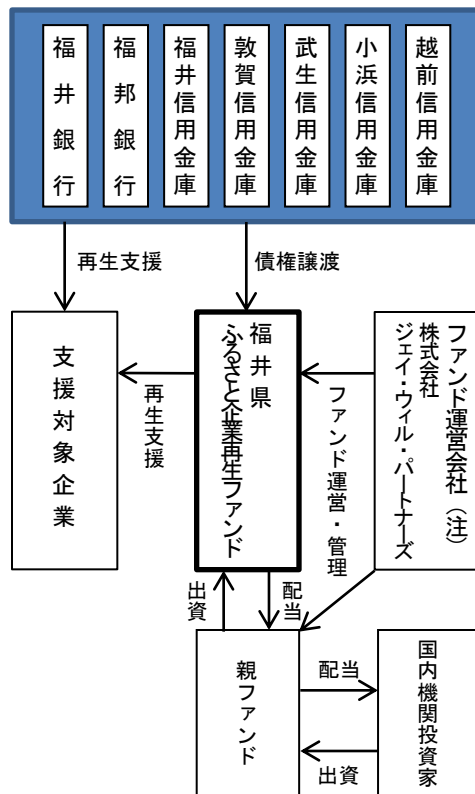
相談員：TKC北陸会福井県支部
(平成24年6・7月に計5回開催)

◆企業再生ファンドの設立

平成25年3月末の中小企業金融円滑化法の終了を踏まえ、県内の地元金融機関と連携し、平成25年2月15日に企業再生ファンドを設立しました。

県内の地元金融機関が連携して本ファンドを活用することで、抜本的な財務体質の改善や事業再生支援を必要としているお客さまに対して、さらなる支援強化と地域経済の活性化に取り組んでいきます。

ファンド名称：福井県ふるさと企業再生ファンド
連携金融機関：福井県内の地元7金融機関



(注)株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズは、日本国内の投資家の資金を日本企業に提供することにより、地域の活性化・企業の再生に資することを目的とする再生ファンド運営会社です。

個人のお客さまに対するコンサルティング機能の発揮

方針

- ・ お客さまのニーズを把握し、安心して選んでいただけるサービス・商品を提供します。
- ・ お客さまが安心してご相談いただける人材を育成します。
- ・ お客さまにご満足していただける分かりやすい説明を心掛けます。

◆セミナーの開催

お客さまのライフステージに応じたセミナーを開催し、各種情報の提供を行いました。

・ふくぎんフレッシューズセミナー

平成24年4月に新社会人となった方を対象として、「ふくぎんフレッシューズセミナー」を開催しました。

企業の早期人材育成ニーズにお応えして開催したもので、77社474名の新社会人の方々が参加しました。

本セミナーは平成25年度以降も開催していきます。

(平成24年4月開催)



・資産運用セミナー

多様化するお客さまの資産運用ニーズにお応えするため、情報提供の場としてテレビ会議システムを利用し、「お客さまセミナー」を開催しました。

(平成24年度10回開催)

・退職者向けセミナー

お客さまのセカンドライフの一助となるよう、「豊かなセカンドライフをめざして」と題し、セミナーを開催しました。

(平成24年7月開催)

・がんセミナー

日本人の死因第1位である「がん」について、より多くのお客さまに深く知っていただく場として『がんセミナー』を開催しました。

(平成25年3月開催)

◆新商品の取扱い開始とキャンペーンの実施

・しあわせキャンペーン

(夏:平成24年6月～8月・

冬:平成24年11月～平成25年1月・

春:平成25年2月～5月 3回実施)



・インターネット投資信託・インターネット外貨預金 キャンペーン

(平成24年6月～8月・平成25年2月～5月実施)

・マイカーローンキャンペーン

(平成24年7月～9月・平成25年1月～4月実施)



・リフォームローンキャンペーン

(平成24年7月～12月実施)

・教育ローンキャンペーン

(平成24年9月～平成25年4月実施)

・福銀カードローン「iTSUMO'N」取扱い

(平成24年10月開始)



◆「通帳」「証書」「カード」デザイン変更

より多くのお客さまがご利用しやすいよう、見やすくわかりやすい色と文字を使用したデザインにリニューアルしました。ブランドマークを用いた統一感ある新デザインです。



地域の面的再生への積極的な参画

方針

- ・ 地域経済のシンクタンクの役割を担うべく、情報の収集・蓄積・発信を行います。
- ・ 地域の産業調査による面的再生に向けた情報支援を行います。
- ・ 新たなビジネスチャンスへの提言を行います。
- ・ 金融経済教育の提供や企業見学の受け入れにより金融知識の普及・啓蒙に取り組めます。

◆産学官連携に向けた取組み

地公体・地元支援機関・地元大学と密に情報交換を行うなど、産学官連携による地域資源の有効活用および地域の活性化実現に向けて積極的に取り組んでいます。

・地域情報連絡会の開催

大学側のシーズとお取引企業の技術的ニーズを結びつけることを目的として、福井大学・福井工業大学と当行営業店長の情報交換の場として地域情報連絡会を開催しました。

(平成24年6、8月開催)

・福井大学への行員派遣

産学官連携を推進するため、福井大学と当行のパイプ役として行員1名を派遣しています。

◆地元産業活性化に向けた取組み

平成24年度より、大阪府および財団法人大阪産業振興機構が運営する「ものづくりB2Bネットワーク」に参加しました。

本ネットワークは大阪府等と金融機関が連携し、国内外からの製造業に関する「引き合い」に対応できる「元気なものづくり企業」を探索し紹介する取組を実施しています。

本ネットワークへの参加をとおして当行とお取引のある製造業のお客さまに有益な情報を提供していきます。

◆財団法人保堂会教育福祉財団による寄附事業

財団法人保堂会教育福祉財団は、当行の役職員で構成していた「保堂会」という任意団体が設立母体となって平成12年に設立した財団法人です。

教育の振興および福祉の向上に寄与することを目的として、毎年春と秋に福井県内の学校教育関係団体や社会福祉関係団体等に対して寄附事業を実施しています。

平成24年度は、計20団体に総額465万円を寄贈しました。

◆金融知識の普及・啓蒙

教育機関への講師派遣による金融経済講座の開催や、職場見学・啓蒙を通して、地域の明日を担う人材の育成のお手伝いに取り組んでいます。

また、お取引企業へ講師を派遣し、マナー研修や顧客満足度向上セミナーを開催しました。

・金融経済教育講座の開催

小・中学生	2校・2回	44名が参加
高校生	5校・6回	507名が参加
大学生	3校・3回	500名が参加

福井工業大学では、平成23年度に引続き伊東頭取が講師となり、「地域経済と金融機関の関わり」と題して講義を行いました。

・職場見学・職場体験の受入れ

小・中学生	8校・8回	94名が参加
高校生	6校・6回	62名が参加
大学生	2校・5回	56名が参加

福井養護学校、福井南養護学校の生徒のみなさんには、銀行窓口やATMによる入出金、振込手続きを体験していただきました。

・インターンシップの開催

平成24年度に当行主催により福井・京都・東京で実施したインターンシップには合計91名、福井県インターンシップ推進協議会・福井県経営者協会が主催したインターンシップには4日間でのべ60名にご参加いただきました。

・マナー・顧客満足度向上セミナーの開催

16先(18回)379名のお取引企業の社員の方々にご参加いただきました。



地域や利用者に対する積極的な情報発信

方針

- ・ 地域密着型金融の取組み状況について、積極的かつ具体的に情報発信します。
- ・ 地域のお客さまへ福井銀行が有する情報、ノウハウを積極的に発信します。

◆地域密着型金融取組み事例等の紹介

四国財務局が地域密着型金融の一層の推進を図ることを目的として開催した「平成24年度 地域密着型金融に関するシンポジウム」において、伊東頭取が「福井銀行における産学官連携への取組み」と題して、取組み事例を紹介しました。

(平成25年3月)



◆地域密着型金融の取組みに関する顕彰

北陸財務局より、平成24年度の当行の地域密着型金融の取組みについて顕彰されました。

(平成25年4月)



◆ホームページの充実

ホームページで地域密着型金融の取組み方針をはじめ、取組み状況等の情報を掲載しています。

今後も、分かりやすく、使いやすいホームページになるよう努力していきます。

◆ミニディスクロージャー誌の発刊

当行の業績や取組み内容を掲載したミニディスクロージャー誌を発刊しています。

